

在宅医療推進に関する取組について

1 吹田市地域医療推進懇談会の開催状況について

令和2年度については、新型コロナウイルス感染症への対応を全所体制にて最優先で行っていたことから、本会議についての開催を見合わせた。

令和3年度も感染拡大を繰り返しており、会議開催回数を縮小することとしているが、以下については取組を進めている。

2 令和3年度 ACP 推進事業について

(1) 本事業を行う背景

これまでの会議において、ACP 推進に関する議論を重ね、市民啓発及び医療介護関係者の理解促進・スキル向上の必要性やそれらの具体的な啓発の方向性について検討してきた。

また、昨年度からの新型コロナウイルス感染症への対応においても、入院調整において、病院から蘇生への希望確認を求められる等、市民一人ひとりが事前に自分ごととして考えておくことの重要性を感じている。

(2) 主旨

ACP に関する市民啓発プログラムを作成し、行政や医療介護関係者がそのプログラムを活用することで、市域での効果的な ACP 啓発が促進されることを目指す。また、医療介護関係者の ACP への理解促進・スキル向上を目的とした研修プログラムを作成し、市域での展開を実施するもの。

(3) 事業内容

① 市民啓発プログラム等の開発

対象：一般市民

目的：将来の自分や家族のため、ACP の基本的な概念を理解する

啓発プログラム・媒体の作成

- 市民向け講演会や出前講座の市民啓発に活用できるプログラム資料の作成
(啓発資料、講座開催のポイント
タイムスケジュール等を示したもの)

誰でも効果的な啓発が可能なプログラム

大阪大学監修

講演用 PPT スライド



ACP 啓発の手引き

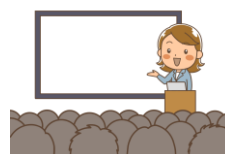
啓発媒体

等

啓発プログラムを使った市民啓発の展開

- 作成したプログラムを、医療介護関係者や行政関連部署に配付。
- 各々が、そのプログラムを使って、各地で市民啓発を展開

プログラムを使って、各々が啓発展開



病院主催の市民講演会

医療介護関係者による

出前講座

等

② 医療介護関係者を対象とした ACP への理解促進・スキルアップにかかる
研修プログラムの開発

対象：医療介護関係者（吹田市 3 師会、医療機関の医師・看護師等、介護保険事業者（訪問看護師・居宅介護支援専門員等）、地域包括支援センター、市職員等）

目的：ACP の概念や意思決定支援に係る具体的な介入支援方法を習得し、適切な支援へつなげる（基本的な概念や考え方を習得する基礎編）

研修プログラム・媒体の開発

○職場内研修等の際に活用できる
プログラム資料の開発
（研修資料、研修のポイント等
を示したもの）

どの職場でも効果的に学習が可能なプログラム

大阪大学監修

研修用 PPT スライド



研修の手引き

研修資料 等

研修プログラムの配付・展開

○開発したプログラムを、医療介護関係者
や行政関連部署に配付。
○各医療介護関係者等が、そのプログラム
を使って、各々の職場で研修等を実施

プログラムを使って、各々の職場等で研修



職場内研修

多職種研修会

各々が自主学習 等

3 今後のスケジュール

令和 3 年 10 月 市民啓発プログラム完成予定

令和 4 年 2 月 医療介護関係者向け研修プログラム完成予定

令和 4 年 3 月 結果報告会